

平成 14 年度ダイオキシン類監視結果 環境省



環境省は、ダイオキシン類対策特別措置法に基づき平成 14 年度に国及び地方公共団体が実施した、全国の大気、水質(底質を含む。)及び土壌のダイオキシン類環境調査結果を取りまとめました。結果は、大気が 966 地点、濃度範囲 0.0066 ~ 0.84pg-TEQ/m³、平均値 0.093pg-TEQ/m³、環境基準超過地点数 3 地点、公共用水域水質が 1,976 地点、濃度範囲 0.01 ~ 2.7pg-TEQ/L、平均値 0.25pg-TEQ/L、環境基準超過地点数 56 地点、公共用水域底質が 1,553 地点、濃度範囲 0.0087 ~ 640pg-TEQ/g、平均値 11pg-TEQ/g、環境基準超過地点数 26 地点、地下水質が 1,310 地点、濃度範囲 0.011 ~ 2.0pg-TEQ/L、平均値 0.066pg-TEQ/L、環境基準超過地点数 1 地点、土壌が 3,300 地点、濃度範囲 0 ~ 250pg-TEQ/g、平均値 3.8pg-TEQ/g、環境基準超過地点数 0 地点でした。ダイオキシン類の環境中への排出は年々減少しており、これに伴い、大気中の濃度は低下傾向にあり、基準超過地点の割合が平成 13 年度の 0.8%から 0.3%と 0.5 ポイント減少し、大気環境基準の達成率は向上しています。

また、公共用水域水質及び底質の濃度は、継続調査地点でみると昨年度と同程度でした。

資料: 2003 年 12 月 5 日付 環境省ホームページ

クロマト研究箇所 戸邊 真一

事業内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明 | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理 |
| 4 水道法第 20 条に基づく水質検査 | 8 委託試験・研究・開発 |

